

不特定多数の出入りがある場所での人の管理・情報収集のための

「ひなた訪問者管理システム」開発事業

総事業費 2,326,540円

事業者名：株式会社宮崎県ソフトウェアセンター
(所在地：宮崎市)

事業の内容

事業目的・概要

- 現在、様々な自治体で導入されている新型コロナ追跡アプリは色々あるが、利用率が上がらず、利活用されていない状況にある。
- そのため、利活用してもらうためのサポートや広報に重点を置き、事業を通して、実効性の高い危機管理の取り組みに向けた実証を行う。
- ポストコロナ時代の課題解決実証事業するには、利用率の向上が必要となるため、以下の取組みを実施。
 - ① 訪問登録を簡易化することで利便性を向上。(空メール登録)
 - ② 施設管理者からの利用促進配信も可能とし、感染対策以外の用途として、積極的な営業支援機能を追加。
 - ③ システム導入、効果測定に留まらず、定期的なフォローを行い、利用促進に向けたPR活動等のサポートを実施。

実証フィールド

- 宮崎県西都原考古博物館(西都市)、宮崎県埋蔵文化財センター分館(宮崎市)、焼肉しもふり亭(飲食店：宮崎市)、バルの2月(飲食店：宮崎市)、長日川(旅館：宮崎市)

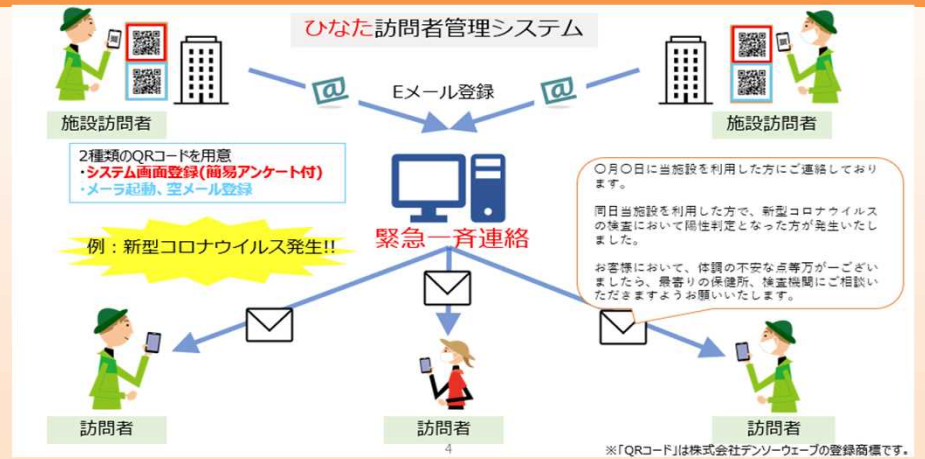
本事業の目標

- ① 総訪問者数に対する、メールアドレスの登録者数を50%。
- ② 実証事業後もシステムを継続利用率を50%。
- ③ 実証事業後から1年以内に、合計30箇所以上の設置。

本事業終了後の展開

- ① 集めたデータについて、AIを活用・分析し、マーケティング等に利用。
- ② 広報、付加サービスなどを顧客・利用者に提供するシステムへの転換。
- ③ メール配信システムとして機能を拡充し、導入提案、推進。

事業スキーム等



特設ホームページ

宮崎市の登録店舗
登録店舗は 5 件です



Point ~ここが新しい~
ユーザ参加型で、参加ユーザが増えれば安全性も上がるシステム